

千總 12 代当主・西村總左衛門
書簡から見えるネットワーク

京 都 芸 術 大 学
歴史遺産学科 木村 栄美

西村總左衛門関連書簡に登場する人物

1. シカゴ万国博覧会関連

①縁者

西村總左衛門 1855～1935

千總 12 代当主。実父は福井出身の儒者・三国幽眠。名は直篤。

三国幽眠 1810～96

福井出身の儒者。京都に居を構え、鷹司家侍講となる。安政の大獄で福井藩士・橋本左内等と関わったことにより、追放処分を受ける。

静枝（總左衛門実母） 1824～93

但馬出石の郷土・池田平太夫の娘。明治二六年三月三日没。

三国一愨（總左衛門実兄） 1842～1922?

總左衛門の長兄。直継。書簡では号・淡雲。孫は陸軍中将・三国直福。

②芸術家関係

榊原長敏（号・文翠） 1824～1909

幕臣・榊原長基の子。はじめ谷文晁に師事、後に文晁系の遠坂文岱に学んだ。国学者として身を立てるため上京。維新後は、内国絵画共進会や京都博覧会で評価を受け、京都府画学校、京都市美術学校で教鞭を執る。大和絵画派の主力。シカゴ万博においては「小松重盛諫言之図」を出品。

久保田米僊 1852～1906

本名・満寛、寛。鈴木百年門人。日清戦争に従軍、現地で取材及び状況を写生して『日清戦闘画報』としてまとめ、出版した。シカゴ万博においては私費で渡米し、博覧会の様子を「閣龍世界博覧会美術品画譜」に残している。

③その他

新居三郎 1864～1951

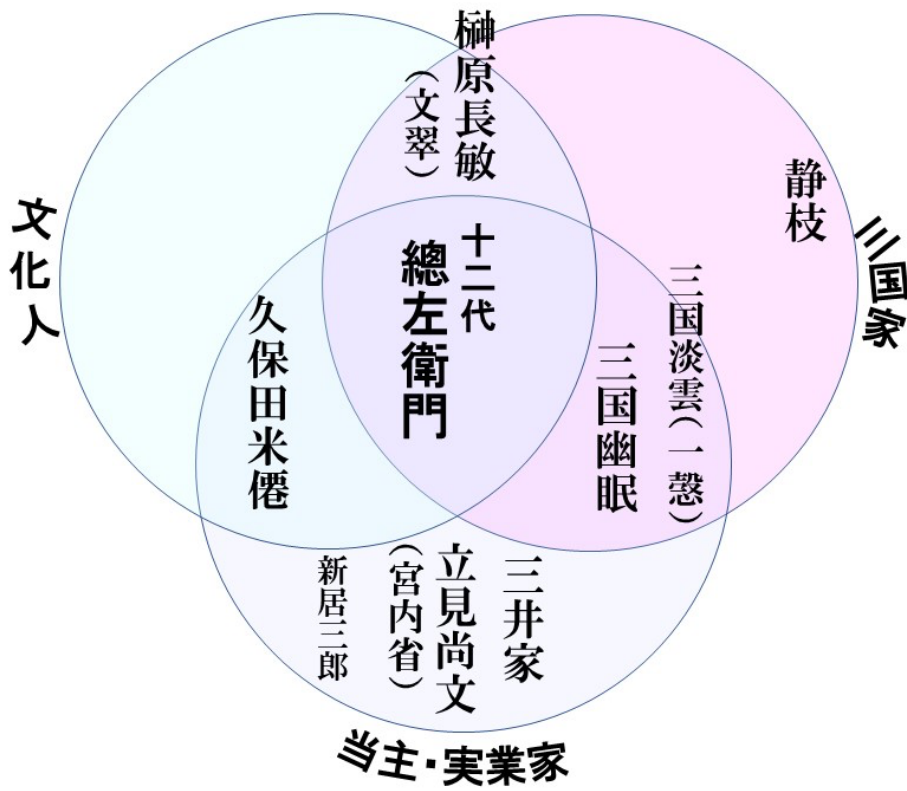
久保田米僊書簡に登場。アメリカ映画輸入の先駆者。新居商会代表。

新潟県与板出身。米僊の書簡にも「新潟(潟)縣越後国三島郡与板 新居三郎」と記されている。当時は留学中で、実業家としては、まだ無名？

2.宮内省・軍人関連

立見尚文

陸軍大将。桑名藩主・松平定敬の小姓。戊辰戦争、宇都宮・北越・会津・庄内における戦では、数々の武功を上げた。維新後は謹慎処分の後、裁判官となったが、かつての指揮能力を新政府に買われ、陸軍に招かれ、西南戦争、日清、日露等で指揮官として活躍する。



十二代・總左衛門の顔と 書簡にみる関係性